

【小学校・中学校・義務教育学校用】

令和8年度学校評価 計画

学校名	白石町立白石中学校		
1 前年度 評価結果の概要	最終評価、学校関係者評価とおおむね達成できている結果であった。「心の教育」については、生徒が落ち着いた学校生活を送る様子がみられた。安心・安全な学校づくりを目指してさらに取り組んでいきたい。「業務改善・教職員の働き方改革の推進」については、3ゼロ宣言を職員の合言葉として意識が高まっており、時間外在校時間の減少についても改善が見られ、今後も継続して取り組んでいきたい。		
2 学校教育目標	志をもち、自ら学び、未来を切り拓く、輝きに満ちた生徒の育成		
3 本年度の重点目標	①心の教育 ②学力の向上 ③健康・体づくり ④特別支援教育の充実 ⑤キャリア教育の充実 ⑥開かれた学校づくり		
4 重点取組内容・成果指標			
(1)共通評価項目			
	重点取組		具体的取組
評価項目	取組内容	成果指標 (数値目標)	
●学力の向上	○「主体的、対話的な深い学び」を通じた分かる授業作り	○学力向上、指導法工夫改善実践に取り組む教師の割合80%以上。 ○授業のめあての達成を意識して授業に臨むことができていると回答した生徒の割合80%以上。	・1時間または単元を通して、「授業作りステップ123」を意識し、指導法工夫改善に取り組む。
●心の教育	●生徒が、自他の生命を尊重する心、他者への思いやりや社会性、倫理観や正義感、感動する心など、豊かな心を身につける教育活動	○道徳に関するアンケートにおいて肯定的な回答をした生徒の割合80%以上。	・道徳に関するアンケートの実施。 ・道徳科の授業づくりに関する校内研修の実施。 ・学級通信を活用して道徳教育を保護者に向けて発信をする。
	●いじめの早期発見、早期対応に向けた取組の充実	●生活アンケートにおいて、教職員が話を受け止めてくれるなど、肯定的に回答する生徒の割合80%以上。 ○心のアンケートにおいて、肯定的な回答をした生徒の割合を80%以上。	・毎週の生徒指導部会と、毎月生徒支援協議会で生徒の状況の共通理解。 ・毎月の「心のアンケート」実施と年間2回の教育相談週間の実施による生徒理解。 ・毎週教育相談部会を開催。 ・生徒の主体性を育む学級活動の充実。
	●◎生徒が夢や目標を持ち、その実現に向けて意欲的に取り組もうとするための教育活動	●「将来の夢や目標を持っている」について肯定的な回答をした生徒の割合70%以上。	・総合的な学習の時間やキャリア教育全体を通じ、望ましい勤労観・職業観を育み、自己の生き方を探究する活動を推進する。 ・キャリアパスポートを効果的に活用し、これまでの歩みを振り返りながら自らの進路と向き合う時間を設定する。
●健康・体づくり	●「望ましい食習慣と食の自己管理能力の育成」 ●「基本的生活習慣を身につけ、自己管理能力の育成」	●「早寝・早起き・朝ごはん」等の望ましい生活習慣を心がけていると回答した生徒の割合85%以上を目指す。 ○体育の授業以外で運動やスポーツを1日30分以上かつ、週に3日以上する生徒70%以上。	・給食や保健委員会と連携し、早寝・早起き・朝ごはんなどの望ましい食習慣についての啓発を行う。 ・保健体育の授業で、運動やスポーツの楽しさや喜びを味わわせ、自ら進んで計画し、実践する資質能力を養う。 ・保健だよりで、健康情報を発信する。
	●業務改善・教職員の働き方改革の推進	●業務効率化の推進と時間外在校等時間の削減 ○服務規律に対する意識の高揚	●教職員一人ひとりが心身の健康を保ち、自己研鑽と教育実践を両立できる職場の実現を目指す。 ●年次休暇20日のうち、職員1人当たりの年次休暇の取得日数を14日以上を目指す。 ○白石中学校3ゼロ宣言 ・交通事故0宣言 ・飲酒運転0宣言 ・不祥事0宣言
●特別支援教育の充実	○特別支援教育に関する教員の専門性と意識の向上	○「特別支援教育に関する専門性が高まった」と回答する職員90%以上を目指す。	・特別支援教育に関する研修の実施、生徒支援協議会での情報提供。 ・必要に応じてケース会議を設け、配慮を要する生徒への対応の仕方を共有する。
(2)本年度重点的に取り組む独自評価項目			
	重点取組		具体的取組
評価項目	重点取組内容	成果指標 (数値目標)	
○キャリア教育の充実	○3年間を見通したキャリア教育の充実	○「学年に応じて自分の進路について考える学習が出来ている」と回答する生徒の割合を80%以上にする。	・自己理解・職業調べ(1年)、職場体験学習・進路適性検査・高校調べ(2年)、進路指導(3年)というように、系統的に指導を行い、希望の進路を実現させる。
○開かれた学校づくり	○地域(保護者や地域住民)との学校教育目標の共有化、および役割分担の推進 ○教育活動の公開と情報の双方向化	○地域・小学校・家庭との交流活動等を通して、「充実した」、「学ぶことがあった」と答える生徒の割合を80%以上にする。 ○学校たより、学校HPなどで、学校の様子が分かるかと答えている保護者の割合を80%以上にする。	・総合学習において、地域の有識者の方を招くなどして、地域連携の構築を図る。 ・学校運営協議会・PTAと協力して、地域とともにある学校づくりに向けて協議を行い、その内容を具現化する。

●…県共通 ○…学校独自 ◎…志と誇りを高める教育